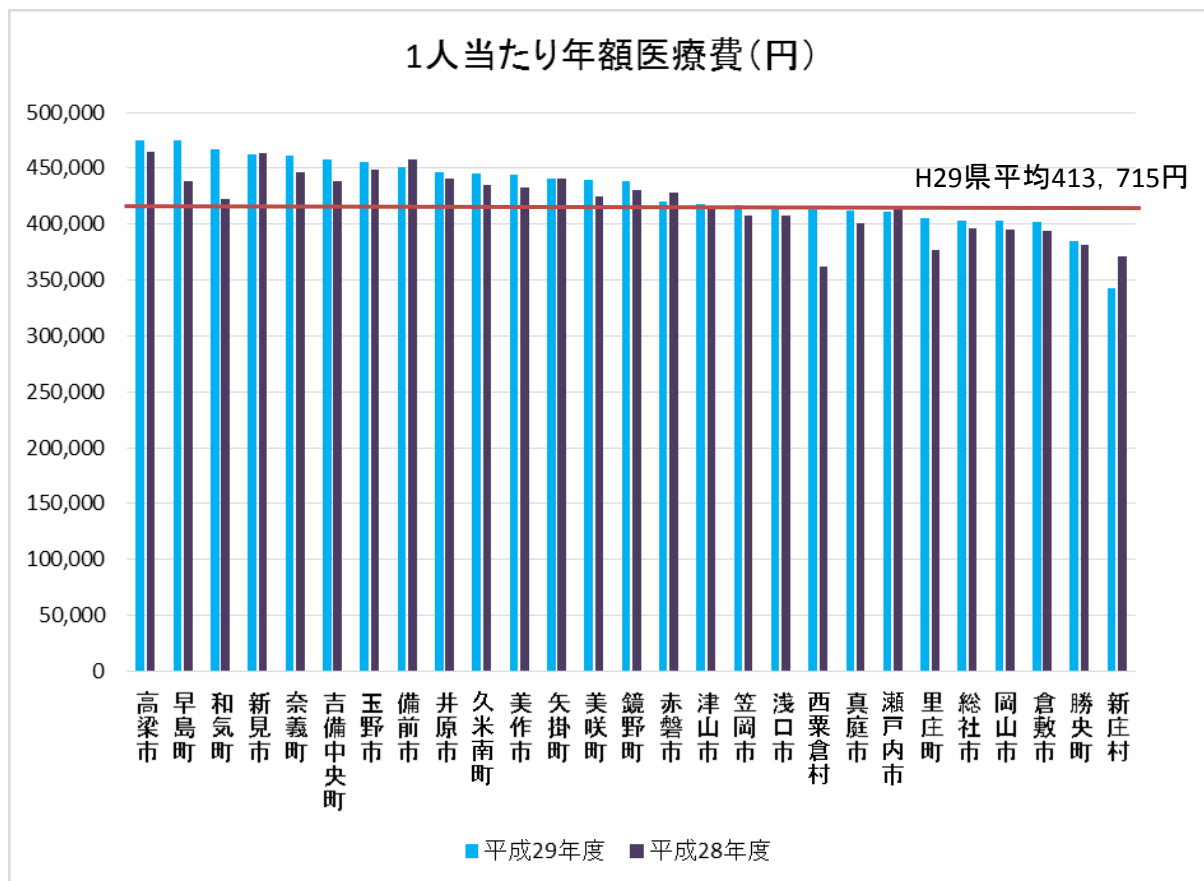


平成29年度新見市国民健康保険医療費分析

H30.11.28

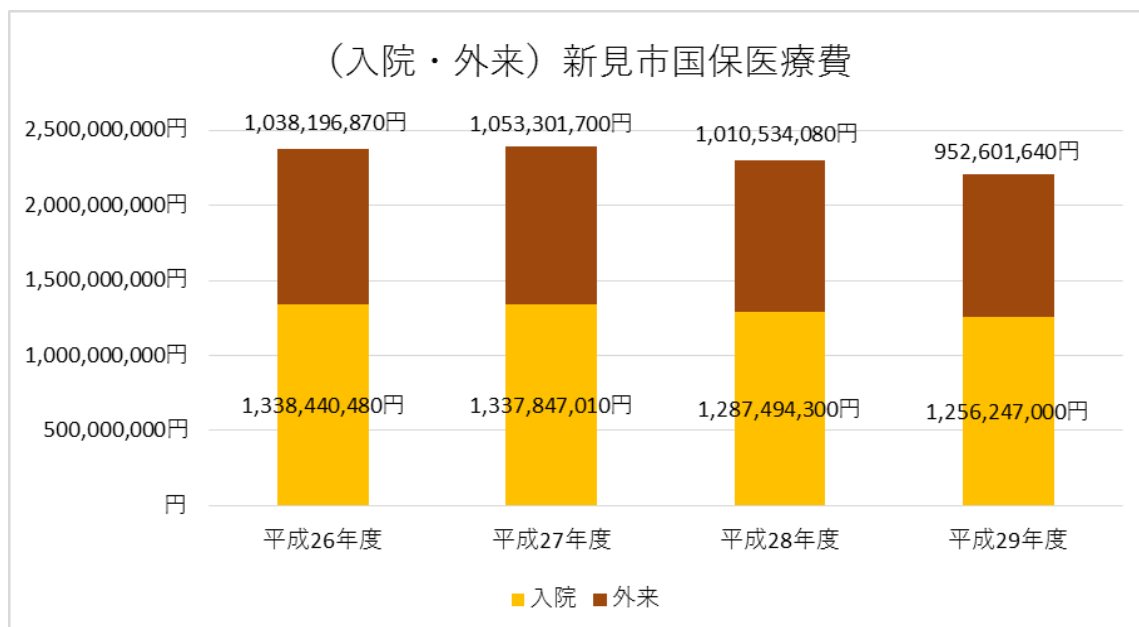
新見市国民健康保険医療費の状況

新見市の1人当たり年額医療費は、平成25～27年度は県内最高額、平成28年度は2位、平成29年度は4位で462,313円となっています。



出典：国保総合システム市町村別データ（平成28・29年度）

- ・総医療費は、平成27年度をピークに減少している。
 - ・平成29年度は、外来医療費が大幅に減少している。
- （入院△約3,100万、外来△約5,800万、合計△約8,900万）



出典：医療費分析システムFocus-R

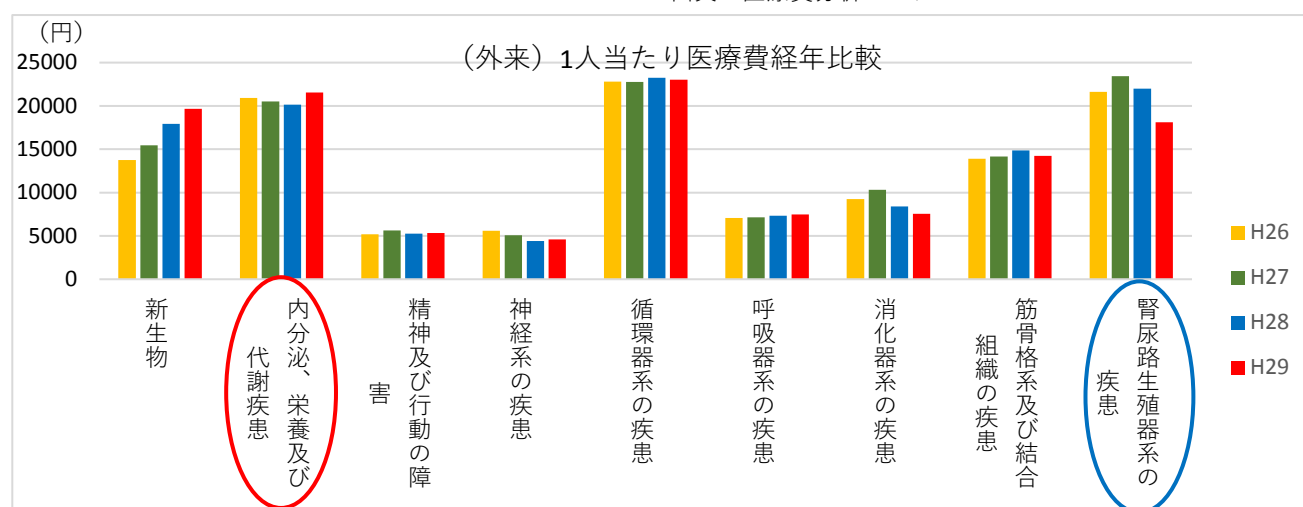
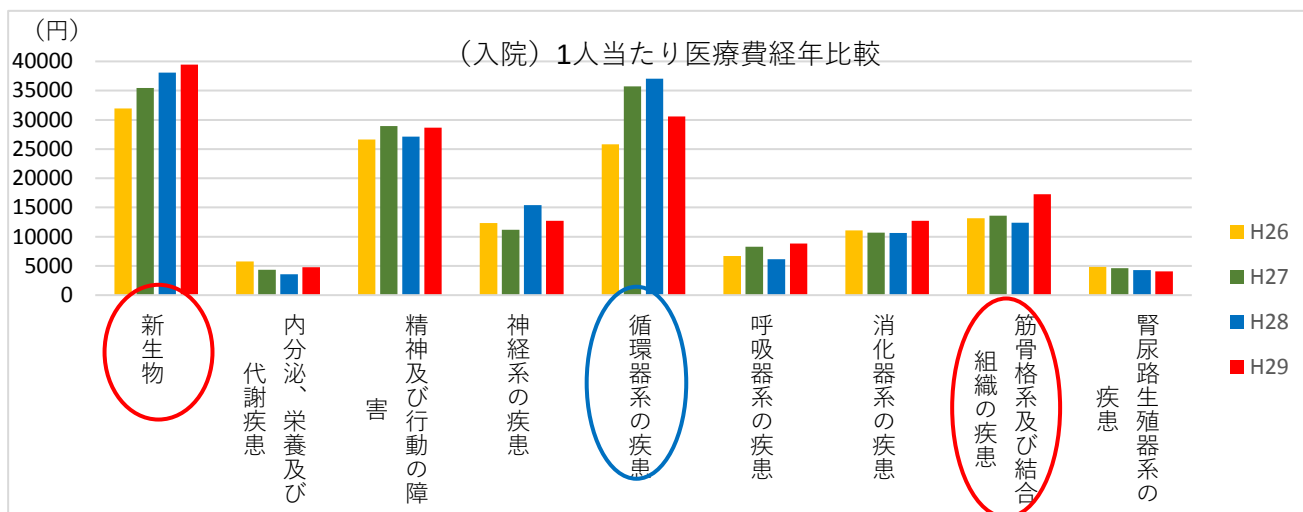
疾病別1人当たり医療費の状況

・入院では、循環器系疾患の医療費が大幅に減少し、入院医療費全体を抑制している。

筋骨格系疾患の医療費が大きく上昇している。

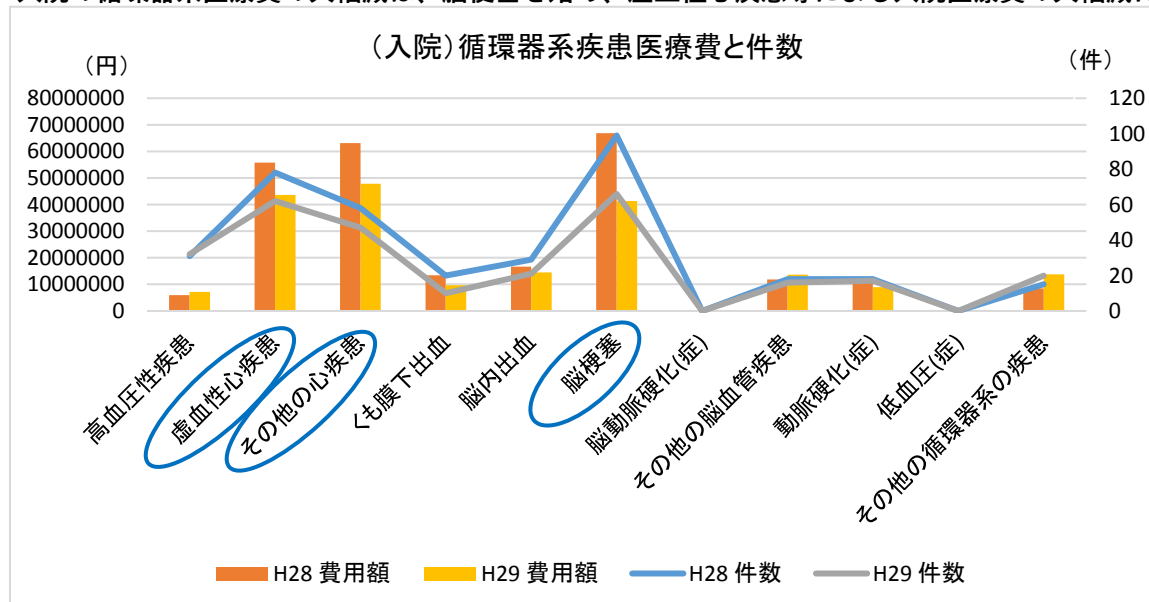
・外来では、腎尿路生殖器系疾患の医療費が大幅に減少し、外来医療費全体を抑制している。

・悪性新生物、内分泌・栄養及び代謝疾患は、入院・外来ともに医療費が増加している。

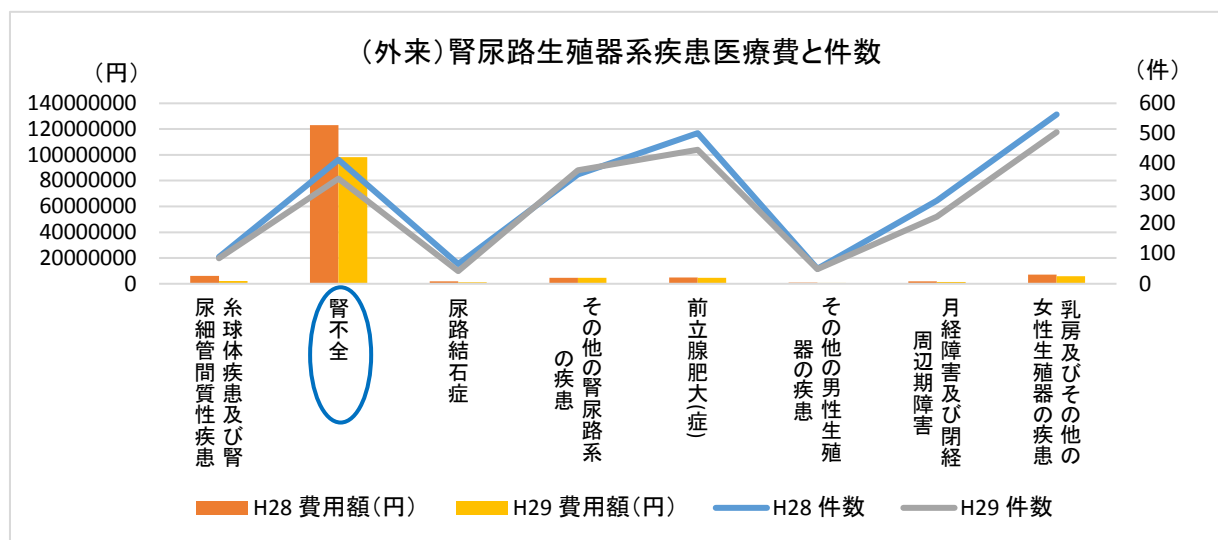


疾病別医療費(循環器・腎尿路・内分泌)の状況

入院の循環器系医療費の大幅減は、脳梗塞を始め、虚血性心疾患等による入院医療費の大幅減による。

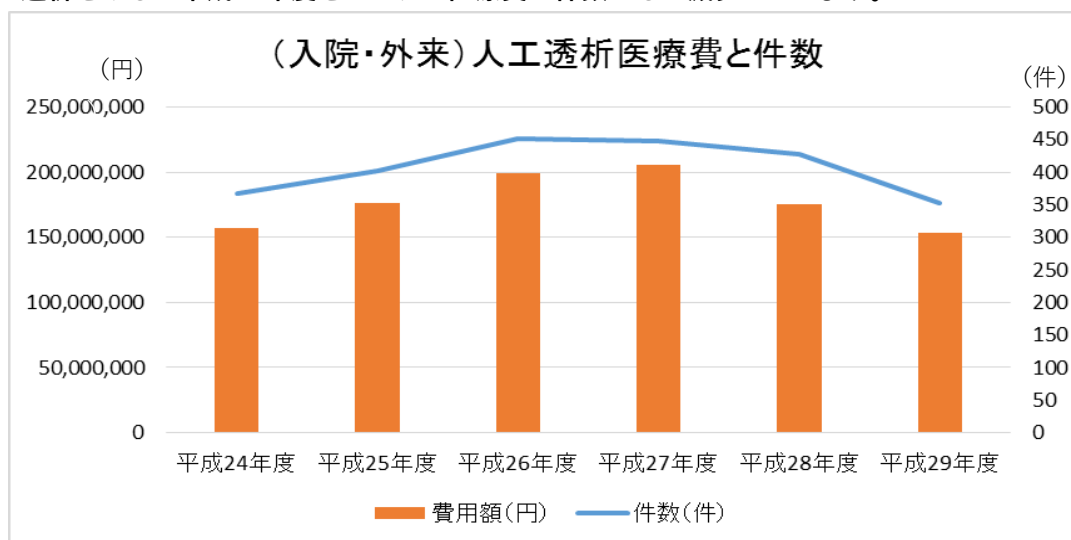


外来の腎尿路生殖器系医療費の大幅減は、腎不全疾患（人口透析）医療費の大幅減による。



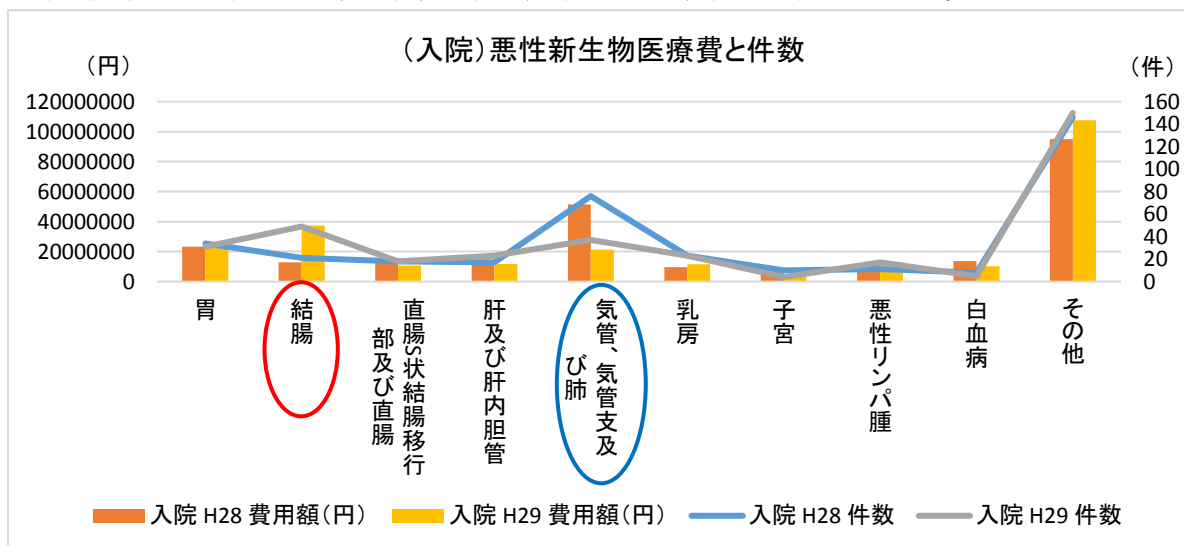
出典：医療費分析システムFocus-R

人工透析をみると平成27年度をピークに医療費・件数ともに減少しています。



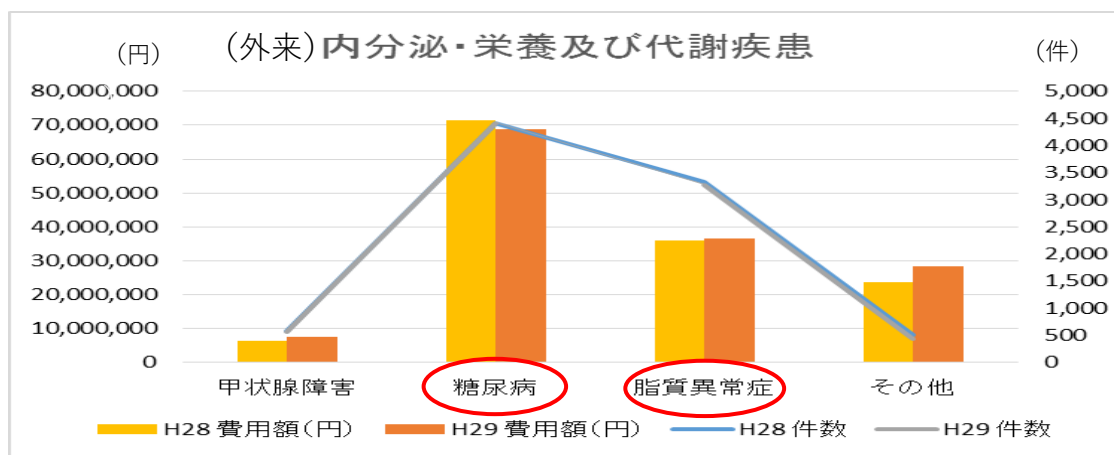
出典：医療費分析システムFocus-R

悪性新生物の入院医療費は、気管、気管支、肺が減少し、結腸が増加している。



出典：医療費分析システムFocus-R

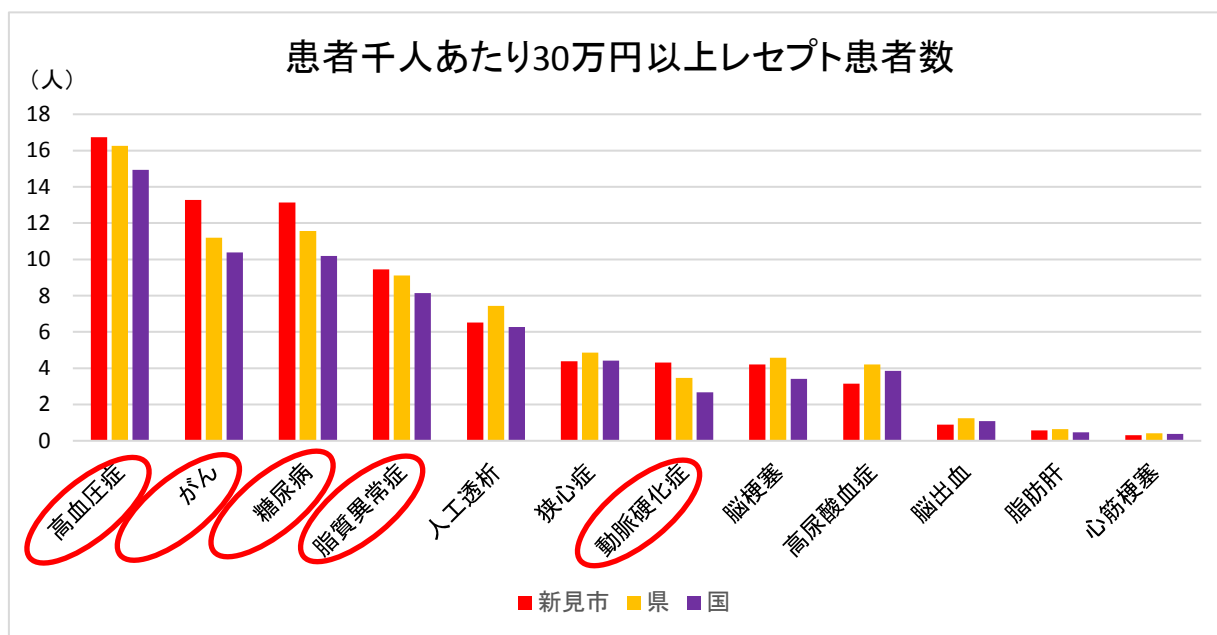
内分泌・栄養及び代謝疾患の外来医療費は、糖尿病、脂質異常症が多い。



出典：医療費分析システムFocus-R

高額な医療費の状況（国県比較）

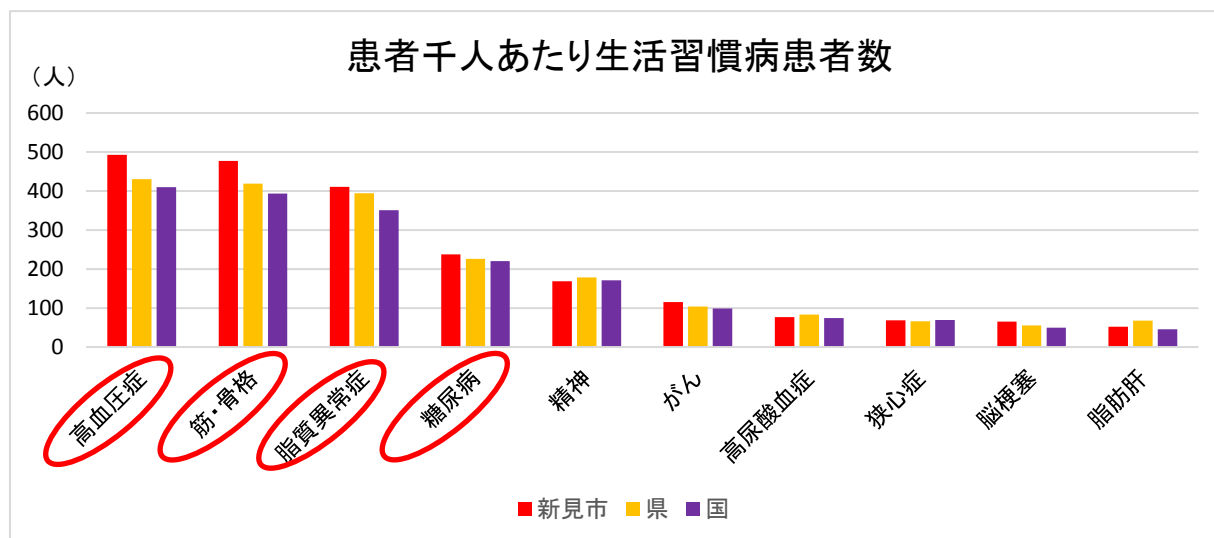
高額な医療費がかかる患者は国県と比べて、高血圧症・がん・糖尿病・脂質異常症・動脈硬化症が多い。



出典：H29年度K D B 医療費分析（1）細小分類

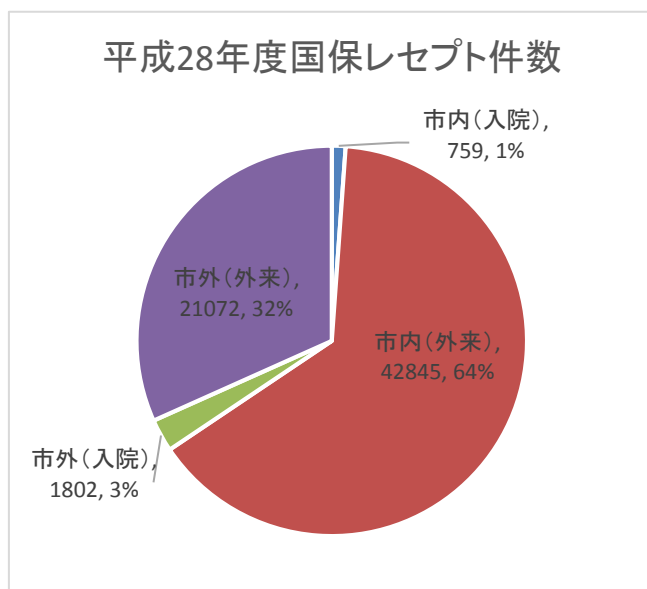
生活習慣病患者の状況(国県比較)

国県と比べて高血圧症・筋骨格・脂質異常症・糖尿病の患者数が多い。



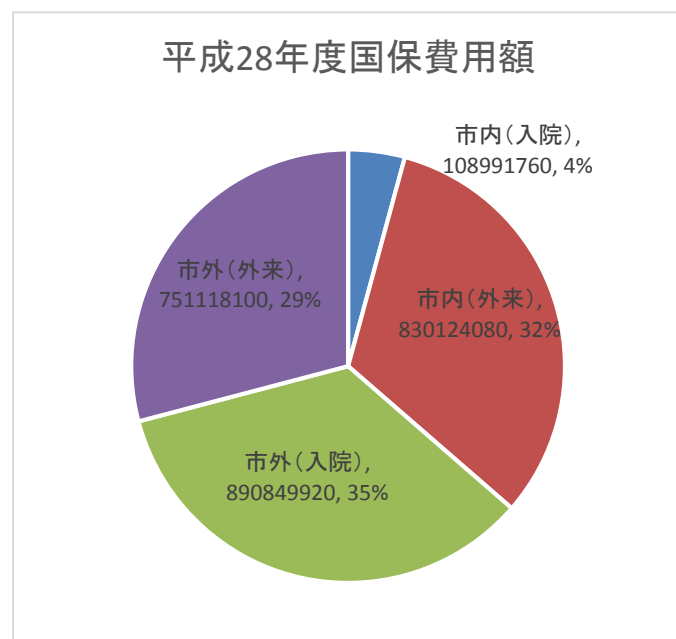
出典：H29年度K D B 医療費分析（1）細小分類

市内・市外別医療費の状況



国保レセプト件数は市内医療機関の外来が64%と多く、次いで、市外医療機関の外来が32%を占めている。

出典：岡山県国保連合会レセプト情報から集計

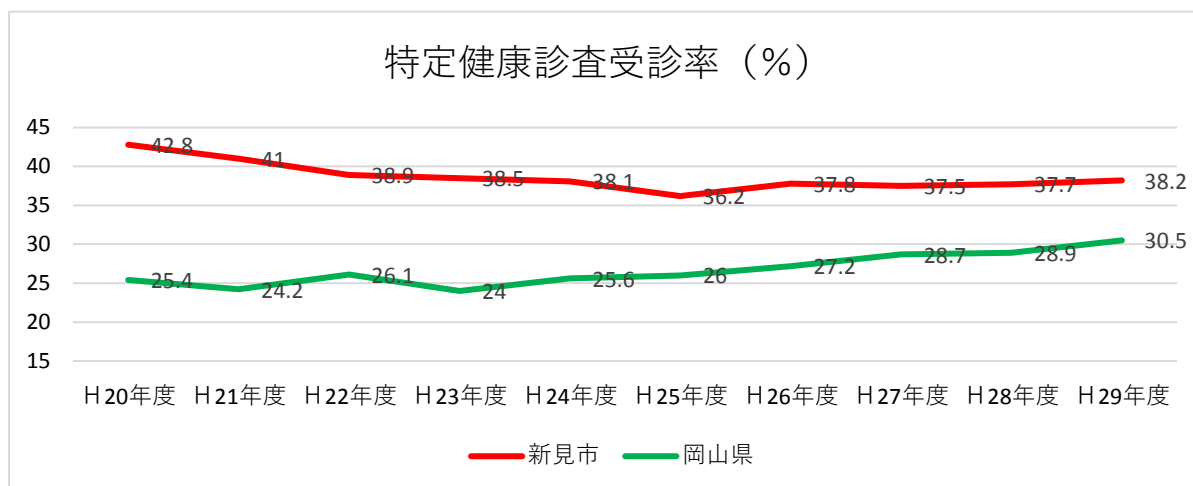


市外医療機関の入院は国保レセプト件数が全体の3%であるが、医療費は全体の35%を占めている。

市外医療機関で高度医療を受けていると考えられる。また、市外医療機関の外来も多い。

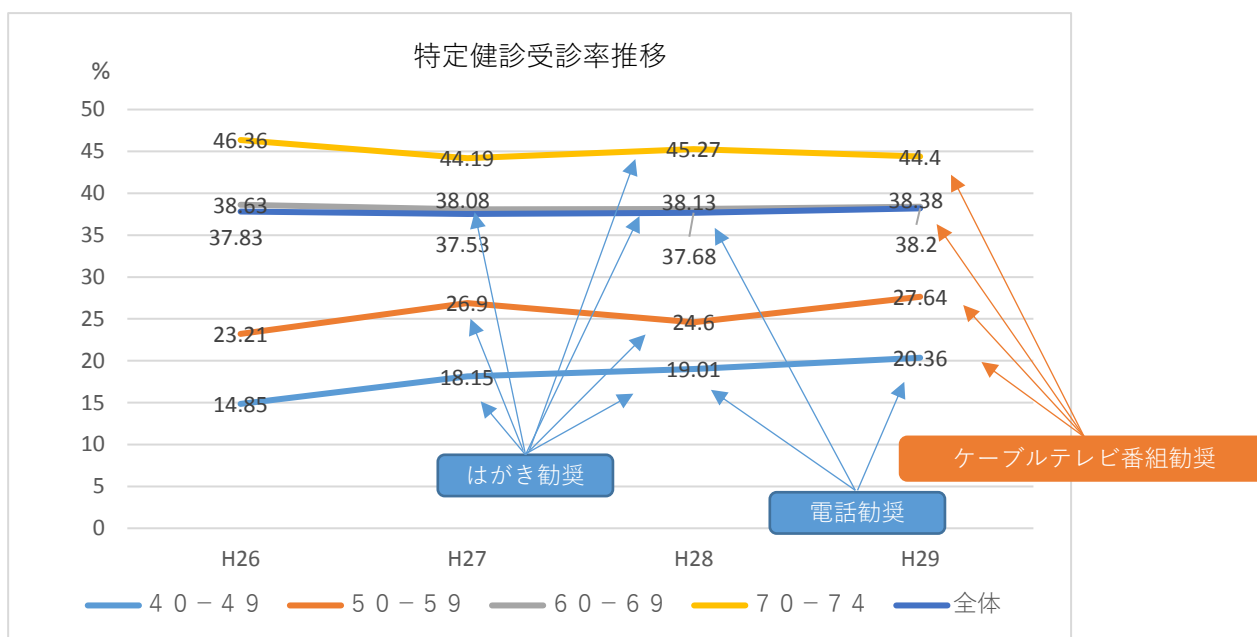
出典：岡山県国保連合会レセプト情報から集計

特定健康診査・特定保健指導の状況



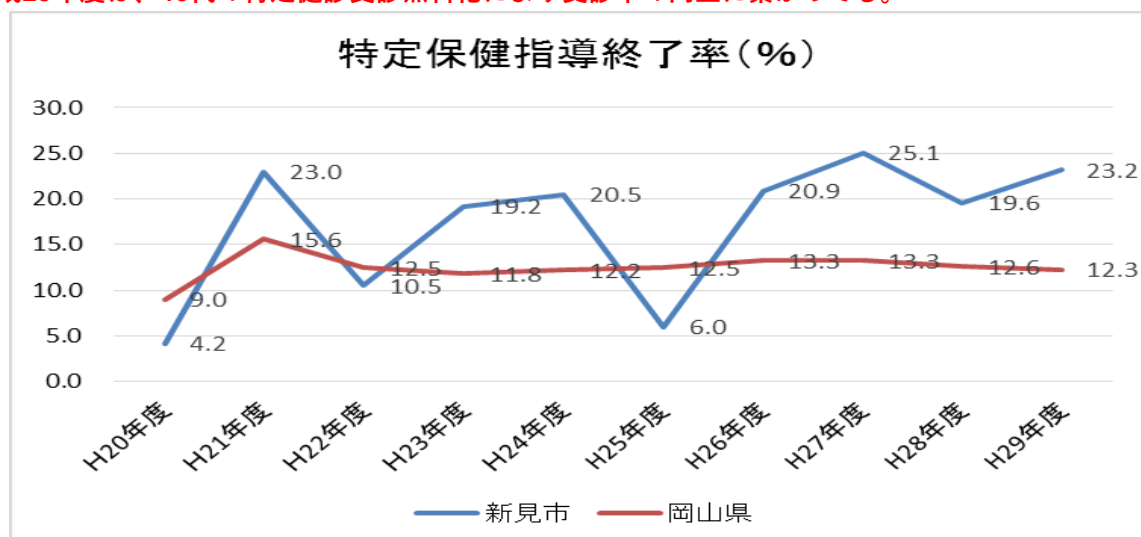
出典：特定健康診査法定報告（H20～29年度）

- ・全体受診率は、僅かながら上昇傾向にある。



出典：KDB厚生労働省様式5-4

- ・平成27年度以降、40歳～59歳の受診率は上昇傾向にある。
- ・はがきや電話による未受診者勧奨を行った年は、受診率の向上が見られる。
- ・平成29年度は、40代の特定健診受診無料化により受診率の向上に繋がってる。



出典：特定健康診査・特定保健指導法定報告（H20～29年度）